

## 令和5年度 全国学力・学習状況調査 神奈川県立中等教育学校の結果

令和5年4月18日（火）に実施した全国学力・学習状況調査の結果について、県立中等教育学校前期課程3年生の生徒の学習及び生活の概況をお知らせします。

今回の分析結果を踏まえ、今後は、各学校と協働しながら学力向上と教育課程や学習指導の充実・改善を図っていきたいと考えております。

### 1 調査の概要

#### (1) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

#### (2) 調査内容

##### ① 教科に関する調査（国語、数学、英語）

- ・ 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ・ 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

##### ② 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

- ・ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

#### (3) 調査結果の公表

県立中等教育学校全体の調査結果を公表する。序列化や過度な競争につながらないようにするため、学校ごとの結果は公表しない。

### 2 教科に関する調査の分析

【平均正答率】

（単位：％）

	国語	数学	英語	
			聞くこと 読むこと 書くこと	話すこと
県立中等教育学校	92.1	82.6	78.6	39.2
神奈川県（公立）	70	52	50	15
全 国	69.8	51.0	45.6	12.4

※ 英語（話すこと）の「全国」の値は、実施状況等を考慮した統計的補正をかけ、全国値として推定されたもの。

（文部科学省から提供されたデータを基に作成）

### (1) 国語に関する調査結果

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「情報の扱い方に関する事項」、「我が国の言語文化に関する事項」の各内容について全国の結果と比較すると、すべての内容において平均正答率が高くなっている。

#### 《他の問題と比べて正答率が低かった問題》

- ◆ [1] 二「意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる」

#### 《改善に向けて》

- 生徒が情報と情報の関係を理解する資質・能力を高められるように、考えの拠り所となる事柄を確かめるなど、学習活動において意見を支える根拠を明らかにすることができるように指導していく。

### (2) 数学に関する調査結果

「数と式」、「図形」、「関数」、「データの活用」の各領域について全国の結果と比較すると、すべての領域において平均正答率が高くなっている。

#### 《他の問題と比べて正答率が低かった問題》

- ◆ [7] (1)「四分位範囲の意味を理解しているかどうかをみる」
- ◆ [8] (3)「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる」

#### 《改善に向けて》

- 様々な問題を数学を活用して解決できるようにするために、表、式、グラフなどを用いて問題解決する場面を設定し、それらをどう用いたかについて数学的に説明できるように指導していく。

### (3) 英語に関する調査結果

「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」、「書くこと」の各領域について全国の結果と比較すると、すべての領域において平均正答率が高くなっている。

#### 《他の問題と比べて正答率が低かった問題》

##### 【聞くこと・読むこと・書くこと】

- ◆ [7] (2)「日常的な話題について、短い文章の概要を捉えることができるかどうかをみる」
- ◆ [10] 「日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる」

##### 【話すこと】

- ◆ [1] (3)「疑問文の特徴を理解するとともに、その知識をやり取りの場面において活用できる技能を身に付けているかどうかをみる」

## 《改善に向けて》

### 【聞くこと・読むこと・書くこと】

#### ○ 7 (2) について

英文を読んで概要を捉える際には、説明文や物語など読んでいる題材に応じた指導を心がける。説明文であれば、各段落の主な内容を集めたものを概要として捉えることが考えられるが、物語の場合は、時間の流れに沿ったあらすじを概要として捉えることが考えられる。読んでいる英文の題材に応じて、様々な概要の捉え方を指導していく。

#### ○ 10 について

書き表したものをペアやグループで読み合い、言語面での気づきを共有したり、内容や構成、表現方法について質問したり、コメントを述べたりし、その内容を参考に推敲するなど、それぞれの言語活動を関連付けた段階的な指導を行う。まとまりのある文章を書くことができるようにするためには、読むことの活動を書くことの活動につなげていくよう指導していく。

### 【話すこと】

- 会話の流れに応じて関連する多彩な質問を即座にする活動等を通して言語活動を行うに当たり、語順、動詞の形の変化、イントネーションなどを意識するように声かけを行う。また、疑問文を実際のコミュニケーションにおいて正しく活用できるまでには時間を要するため、疑問文を用いて話したり書いたりすることを、3年間を通じて継続的に行うよう指導していく。

## 3 質問紙に関する調査の分析

### 《良好であった内容》

- ◇ 「数学の勉強は好きですか」の質問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計は、全国の平均と比べて高かった。
- ◇ 「英語の勉強は大切だと思いますか」の質問「当てはまる」と回答した生徒の割合は、全国の平均と比べて高かった。

### 《課題があった内容》

- ◆ 「国語の勉強は大切だと思いますか」「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」の質問に「当てはまる」と回答した生徒の割合はいずれも、全国の平均と比べて低かった。

### 《改善に向けて》

- 国語で学習したことが将来役に立つと思う生徒の割合は低いですが、学習の取組に対する質問の回答は良好である。今後は、言葉によって自分の考えを形成したり新しい考えを生み出したりすること、言葉から様々なことを感じたり、感じたことを言葉にしたりすることで心を豊かにすること、言葉を通じて人や社会と関わり自他の存在について理解を深める学習活動を設定することで、言葉が持つ価値を感じられるように指導していく。